

# 一セフティマネジメント協会一 海外PLリスクセミナー

## 中国・米国の最新事情を探る

出崎氏



NPO法人セフティマネジメント協会は、(株)キャブテンと(株)エムアールエム後援のもと、2月17日に東京都港区の機械振興会館で「海外PLリスク最新動向と対策」セミナーを開催した。輸出企業にとって海外でのPL(製造物責任)対策が重要になる中、特に輸

大八木氏



出が拡大する中国と、訴訟社会といわれる米国の事情について、二人の専門家が解説した。最初にセフティマネジメント協会の専務理事を務めるキャブテンの出崎代表取締役があいさつし、日本の景気回復をけん引する輸出産業にとって、重要

岸本氏



度の増す中国と、今後米国の動向を知る意義は大きいとするとともに、PL対策を積極的に行って輸出振興をさらに図ってもらいたいとの考えを示した。セミナーでは、中国・金誠国際保険經紀有限公司日本事業部の大八木貴子総経理が「中

国におけるPLリスクの特徴と対策」と題して、急速に変化する中国の現状を解説。積極的に権利を主張する消費者文化や、整備が進む消費者保護法制度、訴訟のプロセスについて触れ、訴訟が日本と比べて迅速に進む点や、外資企業に厳しく、地方保護主義的な傾向がある点などを指摘した。

また、訴訟以外でも行政処分の可能性や、社会を代表する消費者協会やマスメディアの役割の大きさを挙げ、これらに迅速に対応する体制整備を促すとともに、中国と日本のどちらでPL保険を付保すべきか、また、中国で保険を手配する場合のポイントなどを説明した。

低さ、陪審員制度、懲罰的賠償責任など、被告となる企業側を取り巻く環境を説明。近年のリコール事例をもとに、高い安全基準や想定外使用も含めた対策、証拠の管理などの必要性を強調した。その上で、リスクマネジメントサイクルを継続的に回して最新事情に対応することや、リスクを発生させない「予防」とリスクが発生した場合の「防御」に分けて、それぞれに取るべき対策について解説した。